

平成30年度 放射線・防災教育指導力向上講座 実施要項

1 目 的

放射線・防災教育の充実に向けた指導のポイントを学び、授業、学校行事等における指導内容を構想する。

2 期 日 平成30年8月23日（木）

3 会 場 福島県教育センター （福島市瀬上町字五月田16）

4 日程・内容

時 間	内 容
9:40～ 9:50	受 付 ※受付場所 第3棟 1階第1パソコン研修室
9:50～10:00	開 会 第1パソコン研修室
10:00～10:30	講 義 「放射線・防災教育の充実に向けて」 ・授業構想のポイント
10:40～15:40 (12:00～13:00) 昼 食	演習・協議 「指導内容の構想」 ・放射線・防災教育の充実に向けた指導内容の構想 ・構想した指導内容についての協議
15:45～16:00	閉 会

5 準備物等

(1) 書籍及び資料等

- 「ふくしま 放射線教育・防災教育指導資料 **活用版**」平成29年3月 福島県教育委員会
- その他、授業構想をする上で参考となる資料

(2) 事前課題

以下のアを基に、どの場面を想定した授業づくりを行うかを決めた上で、下記（様式1）を参照し、地域の実態を把握するとともに、授業のねらいを明確にして研修に参加してください。

ア 指導の場面を以下の教科・領域等を参考にしながら設定する。

【放射線教育】理科、保健体育、家庭科、学級活動、総合的な学習の時間 等

【防災教育】社会、理科、学級活動、総合的な学習の時間、学校行事 等

領域 … 防災教育、環境教育、食育、健康教育、エネルギー教育、キャリア教育、
人権教育、道德教育、国際理解教育等

(様式1)

授業構想準備シート (例)

学校名・氏名	〇〇〇立〇〇〇学校 瀬ノ上 専太		
学習内容	〇〇と災害		
校種・学年	小学校・中学校 〇年	教科	学級活動
全体テーマ	「自ら考え、判断し、行動する力」を身に付ける放射線・防災教育		
地域や児童の実態	本時のねらい		
毎年、地震と火災の避難訓練は行っている。近くには〇〇山があり、噴火の可能性があるが、火山噴火時の行動に対する予備知識はあまりない。 町のハザードマップや、災害発生時の避難所等についての知識の有無を調査したところ、知っている児童(生徒)は半数未満であったため、児童(生徒)に周知していく必要がある。	自分の住む地域で起こりうる災害について話し合い、災害が起こった際に、何を考え、どのように判断し、行動すればよいかについて考えることができる。		

(3) その他

- 作成したデータを保存するための電子媒体 (USBメモリ等)

※ウイルスチェック済みで、不要なデータが入っていないものとする。

- 上履き

- 食費 390円

※教育センター内の食堂を全員利用するので、受付時に納入する。

6 留意事項

- (1) やむを得ず欠席・遅刻・早退をするときは、所属長に連絡し、指示を受ける。

- (2) 車で来所する場合は、来所経路・駐車位置について「駐車場案内図」を事前に確認すること。

なお、駐車場に限りがあるため、乗り合わせや公共交通機関の利用に御協力ください。

※「駐車場案内図」は、教育センターWebサイトで確認すること。

7 問い合わせ先

- (1) 欠席等について

福島県教育センター 総合企画チーム

TEL 024-553-3193 FAX 024-554-1588

Email center-kikaku-gr@fcs.ed.jp

- (2) 研修内容について

福島県教育センター 教員研修チーム 放射線・防災教育担当

TEL 024-572-4183 FAX 024-554-1588

Email kyouin-kenshu30-gr@fcs.ed.jp